

40周年記念

関ヶ谷自治会の歩み（10年）（2008年度～2018年度）

高齢化社会に挑戦～向こう三軒両隣

昭和53年7月に関ヶ谷自治会が発足し、今年度で40周年を迎えました。当初30～40代中心の自治会の会員構成は70～80代です。この間、自治会は会員みなさまの協力をはじめとして、輪番制による地区長・班長制度、自主活動部・特別委員会・公職委嘱者・常務員・趣味の会等に支えられ自治会活動を一步一步取り組んできました。この度、その一端として直近10年間で各自治会長から原稿を提出していただき、『30周年記念誌』以降の『歩み（10年間）』としました。今日、高齢化社会の問題は関ヶ谷だけでなく、多くの自治会の担い手不足を引き起こしています。私たちは、昨年度改定された役員選出方法はじめ、会員の叡知と工夫を重ね、支え合いの精神「向こう三軒両隣」を合い言葉に高齢化社会に果敢に挑戦したいと思います。



発行 2018年11月吉日

関ヶ谷自治会

会長 栗原廣之

過去10年の歴史

年代	自治会の取り組み	コメント
2008年度 (平成20年度)	11月 自治会30周年記念行事。	・30周年記念誌発行。作品展、記念アトラクション実施。
	1月 メール便の回数を3回から2回へ。	・高齢化対応委員会で検討し、15日と月末の2回に削減。
	3月 2回目の交通量及び騒音等の環境調査結果報告(土木事務所)。	・平成20年11月騒音調査報告—3か所で騒音が環境基準値を超えていた。
2009年度 (平成21年度)	4月 「楽しく身近な自治会活動」をスローガンに。	・新体制のスタート。
	5月 同郷の集い(ふれあいの会主催)。	・初めて自治会館に来た方を含め同郷の情報交換・親睦等。
	9月 防災セットの配布の開始。	・75歳以上の方に数年に分けて民生委員が特参。
	10月 業務見直し委員会立ち上げ。	・業務全般を見直す、要支援者の緊急時・平時の対応を検討。
2010年度 (平成22年度)	4月 高齢化率区内第一位に(5丁目41.5%)。	・金沢区高齢化率上位7地区の内 関ヶ谷から5地区が占めた。
	4月 釜利谷西地域防災拠点運営委員会委員長の当番に(2年間)。	・夏山・山の手と2年毎に交代し、自治会長が委員長になる。
	4月 「信頼と安心のコミュニティーを」をスローガンに。	・新体制のスタート、「向こう3軒両隣」の心がけ。
	7月 会員名簿の更新。	・3年毎に更新
	9月 住宅用火災警報器を斡旋販売。	・消防所の調査では当地区の設置率は43.1%であった。
	9月 ご近所の集い(ふれあいの会主催)。	・向こう3軒両隣を中心にいざの時の助け合い、親睦・情報交換。
	11月 防災ボランティアグループ設立総会。	・9回説明会を経て115名が会員になった。要援護者の安否確認等。
	12月 突風による被害発生(5丁目を中心	・瓦・屋根材の飛散・浮き上がり、塀の

		に6丁目・2丁目) 35 世帯。	飛散・傾き、カーポートの被害等。
	1月	消防団表彰を授与。	・「金沢区新春消防の集い」で一般消防功 労者として表彰された。
	2月	「関ヶ谷自治会ホームページ」の開設	・HP委員会として早速 東日本大震災 発生時に買物情報等を適宜掲載し好評 を得た。
	3月	東日本大震災の義援金募集。	・160 万円超の義援金が集まり 横浜 市より表彰された。
2011 年度 (平成23年度)	4月	「こころ豊かで安心のコミュニテ ィ	
	7月	を！」をスローガンに新体制発足。 防災講演会（金沢区危機管理担当、	・防災部、防災ボランティア主催。
	8月	釜利谷消防出張所より）。 市教育委員会より小中学校の統廃 合、小学校跡地売却の計画案あり。	・当初の案は、中学校に統合（県の「土 砂災害警戒区域等指定」との整合で、小 学校への統合案に変更）。
	12月	関ヶ谷、夏山、山の手、小中P T A による「西金沢小中学校施設一体化 対策協議会」を立上げ。	・多数の会議を重ね、1月31日、市長、 教育長に要望書提出（内容は、地域が納 得するまで計画の推進凍結、一体化で解 決する課題は何かの質問、学校施設の同 一規模での確保、コミュニティハウス利 用、防災等地域利用施設の継続確保など を要望）。
	12月	生ゴミガス化実証実験に協力参加 （12月12日～翌10月29日）。	・市資源循環局の説明会実施（10月 29、30、11月2日）、実験に412戸 協力参加。
	1月	西金沢小中学校施設一体化につい て、横浜市長、教育長宛て 要望書 提出。	・最終的に小学校に統合、中学校の施設 は継続確保、コミュニティハウス跡地へ の教室増築での日照権・地域利用施設な どについては、地域住民に最大限配慮す ることで合意。現在に至る。
2012 年度 (平成24年度)	5月	自治会館台所、洗面女子トイレの改 修。	

	8月	防犯ポスター更新。	・防犯交通部。
	10月	土木事務所に遊水地の雑草、樹木伐採依頼。	・環境部、10月17日より土木事務所作業。
	11月	自治会防災DVD制作。	・防災部。
2013年度 (平成25年度)	5月	自治会防災部と防災VGの連携体制の強化を確認。	
	5月	自治会防災会議の一本化実施(自治会防災部/防災VG)。	
	6月	自治会館の修繕(横浜市補助金申請・認可)。	・自治会館修繕内容。全6室の空調機の更新、玄関上の吹き抜け部分の収納室化、1階・2階トイレのウォシュレット装着、1階会議室のカーテン替え。これらを実施するに当たり、横浜市へ補助金申請をし、認可も得られた。
	7月	「防災だより」の発刊を開始(自治会防災部/防災VG)。	
	9月	自治会/防災VGが、協働体制での安否確認避難訓練実施。	
	10月	ゆりのき表彰を受ける。	・神奈川県社会福祉協議会よりボランティア功労団体の表彰を受ける。
	11月	「関ヶ谷自治会・防災指針」の策定	
2014年度 (平成26年度)	11月	関ヶ谷地区・災害対策本部設置要綱」の策定。	
	12月	安心安全な街づくり、→ ◇街の防犯灯・LED化完了。	・横浜市による防犯灯のLED化が実施され、自治会が管理委託されていた防犯灯は全て12月までにLED化された。
	2月	「関ヶ谷地域連携協定覚書」の策定、調印(2月2日)。	・関ヶ谷自治会、関東学院大学社会学部、西金沢小中学校の3者が信頼を基に、対等、且つ、開かれた関係性を保持し、地域連携の持続的推進を確認するため、本覚書を取り交わすことが出来た。

2015年度 (平成27年度)	7月	スタンドパイプ式初期消火器 1 台購入。	・各公園で順次 消火訓練を消防所等の支援で近隣住民も参加し実施。
	7月	5 つの 防災スキルチーム発足(防災VG)。	・防火・情報通信電気・医療介護・食糧物資・防災資機材チームで延べ 90 名参加。
2016年度 (平成28年度)	8月	納涼大会・どんど焼きを世話役が中心になって運営するようになった。	・8月の納涼大会は経験者4名が世話役となり、納涼大会の運営にあたった。 1月のどんど焼きは3名の経験者が、運営にあたった。
	8月	学援隊が交通安全・防犯の集いで表彰された。	・毎朝消防署横の交差点の学童横断補助。
	12月	土木事務所が交通量・騒音調査を行った。	・平成20年実施以降行っていなかった。
	2月	会館2階、図書室、和室 照明LED化。	・壊れていた照明器具の修理を機にLEDに変更。
	3月	交通量・騒音の測定結果が出た。	・騒音3カ所測定の結果、釜利谷西4丁目のポイントで夜間のみ基準値を下回った。他のポイントはオーバーした。交通量は20年測定時とほぼ同じ。
3月	掲示板4カ所の修理とマグネット方式に変更。	・痛んでいた掲示板裏面等の修理4カ所と同時にマグネット方式に変更。	
2017年度 (平成29年度)	5月	自治会会費を1年分一括徴収方式に改めた(実施は次年度)。	・役員及び班長の業務負担軽減を図った。
	8月	会館利用申し込みを毎月1日に変更した。	
	9月	自治会防災訓練時に災害対策本部立ち上げ訓練を初めて行った。	・より実践に近い訓練が実施できた。
	9月	地域住民を対象に防災意識アンケート調査を防災VGと協力して実施。	・アンケート結果をカラープリントし配布し防災意識の啓発を図った。
	9月	会館運営・使用・管理の要領の改訂を行った。	・運営委員会と役員の業務と責任範囲が明確になりすっきりしたな運営となった。

10月	感震プレーカーの斡旋販売を初めて行った。	・販売斡旋 78 件、同取り付け支援 8 件。減災につなげることができた。取り付け困難な方には 取り付け支援。
10月	グルメシティが撤退した。	・買い物難民の心配があり、自治会に対応の要請があった。
10月	横浜市の「剪定枝・草のリサイクルモデル事業」として金沢区から当自治会が選ばれ約 2 か月間にわたり実施した。	・約 15 トン収集。資源循環局から感謝の言葉があった。
11月	振り込み詐欺防止標語シールを作成し全戸に配布した。	・標語を募集し金賞・銀賞・銅賞を選出した。
11月	北の丸公園愛護会が表彰を受けた。	
11月	役員選考方法を改め新方式で選考した（自治会規約細則も改定）。	・より簡素でシステムマチックな選考方法となり、選考までの労力の省力化と選考期間を大幅に短縮することができた。
2月	区制 70 周年記念行事としてグランドピアノ購入の募金を行った。	
2月	会館入り口前に公衆電話を設置した	・大規模災害時の通信手段として活用することを主目的に設置した。
3月	わんわんパトロール隊を発足させ 16 名でスタートした。	・犬の散歩というリソースを活用することで地域の防犯力を高めることができた。
3月	非会員の環境整備費を改定した（月額 150 円⇒300 円）。	・環境整備費をソフト面の維持活動コストを負担いただくこととした。
3月	自治会ファミリー会員制度を発足させた。	・会員増強と若返りを図るべく導入を決めた。
3月	地域連携協議会を特別委員会として自治会組織に位置付けた。	
3月	グルメシティの後継店舗にクリエイトが入店し開店した。	・買い物の利便性が回復した。
3月	自治会規約に規定されていた会費関係の条文を規約細則条文とした。	・会費改定等を総会に諮ることなく改定できるようになり臨機性が高まった。

2018年度 (平成30年度)	7月	会館建設・改築・設備更新積立金が改定された。	・原則として年間 150 万（40 年で建て替えを想定する）と改定。
	8月	「わんわんパトロール」が団体表彰	・「金沢区交通安全・防犯のつどい」の防犯部門で団体表彰。
	8月	納涼大会模擬店の照明用電源をカーバッテリーを使って開催した。	・災害時にも活用できることの告知もかねて行った。
	8月	PC 事務員採用。	・これにより、PC スキルのいる、会計・広報の入力作業、住民台帳等の更新作業を役員・地区長が行わなくて良くなった。
	11月	40周年記念行事。	・作品・40周年を振り返っての写真展、親睦の集い、コンサート、タイムカプセル（2028 年開封）、関ヶ谷自治会の歩み（10年）作成。
11月	神奈川県美化運動推進団体表彰	・平成 5 年からの公園 8 カ所と周辺道路の清掃、土曜清掃が受賞理由。	